

授 業 科目名	【 G 】	政治経済史Ⅱ	区 分		開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
	【 H 】	政治経済史Ⅱ	選 択			【 H 】 1		【 H 】 2
科目区分	基本科目：【 G・H 】教科及び教科の指導法に関する科目（中社・地歴・－・－）							
授業形態	対面授業							
担当形態	単 独	【 G 】 教員の免許状取得のための（中社選択・地歴選択・－・－） 科目						
		【 H 】 教員の免許状取得のための（中社選択・地歴選択・－・－） 科目						
施行規則に定める科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項：「日本史・外国史」（中一種免社会）							
	「日本史」（高一種免地歴）							
サブ タイトル	日本における政治・経済の近代化					担当者	田中 秀典	
授業概要	【概要】	「富国強兵」「殖産興業」が明治維新のスローガンとしてあまりに有名であるように、幕末維新期の最大の政治課題はどのようにして独立を維持するかということにあり、そのために不可欠な軍事力とそれを支える経済力の獲得、それらを実現するための諸制度の確立と産業革命の進展に力が注がれた。このような近代日本およびその前提となる近世の発展について、政治的な動きを柱としてその背景にある経済的要因にも目を配りながら概観し、日本の近代化を考える。						
	【到達目標】	日本の政治経済について、近代化とはどのようなものか説明できるようになる。						
履修条件	特になし。							
アクティブ ラーニングの 方法	【－】	事前学習型	【－】	反転授業	【－】	調査学習	【－】	フィールドワーク
	【－】	双方向アンケート	【－】	グループワーク	【○】	対話・議論型授業	【－】	ロールプレイ
	【－】	プレゼンテーション	【－】	模擬授業	【－】	PBL	【－】	その他
ディプロマ・ ポリシーとの 関連性	DP(ディプロマ・ポリシー)①		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)②		－ （当てはまらない）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)③		◎ （よく当てはまる）					
	DP(ディプロマ・ポリシー)④		－ （当てはまらない）					
他科目との 関連性	歴史学概論、日本史概論を履修していることが望ましい。							
教科書	必要に応じて資料を配布する。							
参考書	門松秀樹ほか『日本政治史入門』（一藝者）、清水唯一朗ほか『日本政治史 現代日本を形作るもの』（有斐閣）、小川原正道『日本近現代政治史 幕末から占領期まで』（ミネルヴァ書房）、御厨貴・牧原出『日本政治史 通史と対話』（有斐閣）、武田晴人『日本経済史』（有斐閣）、伊藤隆ほか『世界の中の日本が見える 私たちの歴史総合』（明成社）ほか。これら以外は適宜紹介する。							
評価方法	毎回の授業内での小レポート等【30%】・授業最終回で実施する学習到達度の確認【70%】で評価する。							
フィードバック 方法	提出された小レポート等に対してコメントする。							
評価基準	下記授業単元の内容について、歴史的事象およびその大きな流れと因果関係について理解し、それを適切に表現できた者にはその程度に応じて「S」または「A」評価とする。理解や表現に不適切な点のある者にはその程度に応じて「B」または「C」とし、理解自体が不十分な者はその程度に応じて「D」または「E」とする。試験欠席など、評価不能の場合は「F」とする。							

授 業	【 G 】	政治経済史Ⅱ	区 分	開講年次	【 G 】 1	単位数	【 G 】 2
科目名	【 H 】	政治経済史Ⅱ	選 択		【 H 】 1		【 H 】 2
授業回数	授業内容						
1	ガイダンス、この講義で扱うこと						
	予習： シラバスを確認する。(2時間)		復習： 日本の近代史における問題点について整理する。(2時間)				
2	江戸時代の統治のしくみ 近代化の条件としての江戸社会の発展						
	予習： 江戸時代の支配体制について調べる。(2時間)		復習： 江戸時代の支配体制の問題点について考察する。(2時間)				
3	幕末維新期における近代的政治体制の理念・構想、その理論						
	予習： 幕末維新期の政治状況について整理する。(2時間)		復習： 幕末維新期の立憲政治論について考察する。(2時間)				
4	中央集権国家の建設、近代的土地制度の導入、近代的国軍の創設						
	予習： 近世的土地制度について確認する。(2時間)		復習： 軍事力整備の過程について考察する。(2時間)				
5	産業革命の進展、諸制度の整備						
	予習： イギリス産業革命について調べる。(2時間)		復習： 日本における産業革命とそれに伴う社会の変化について整理する。(2時間)				
6	国会開設運動と明治十四年の政変						
	予習： 自由民権運動について調べる。(2時間)		復習： 民権と国権について考察する。(2時間)				
7	憲法調査と行政改革、華族制度・内閣制度の確立						
	予習： 立憲制導入のための諸制度の整備について調べる。(2時間)		復習： 立憲制導入に先立って確立された制度について整理する。(2時間)				
8	明治立憲制の成立						
	予習： 近代ヨーロッパの立憲政治について調べる。(2時間)		復習： 君権主義について考察する。(2時間)				
9	政党の成長と政党政治のはじまり						
	予習： 政府と政党の関係の変化について調べる。(2時間)		復習： 政党の成長について考察する。(2時間)				
10	学校制度の展開と官僚機構の整備						
	予習： 日本の学校制度の変遷について調べる。(2時間)		復習： 官僚機構整備の背景とその結果について考察する。(2時間)				
11	立憲政治の定着とほころび						
	予習： 大正デモクラシーについて調べる。(2時間)		復習： 「憲政の常道」の行き詰まりについて考察する。(2時間)				
12	戦時体制への移行						
	予習： 戦時体制の実態について調べる。(2時間)		復習： 戦時体制の問題点について考察する。(2時間)				
13	戦後の政治経済体制の変革						
	予習： 戦後改革の実態について調べる。(2時間)		復習： 戦後改革の問題点について考察する。(2時間)				
14	55年体制の成立と崩壊						
	予習： 55年体制成立の背景について調べる。(2時間)		復習： 55年体制崩壊の原因について考察する。(2時間)				
15	日本の近代をどう見るか、まとめ、学習到達度の確認						
	予習： これまでの講義内容をふりかえる。(2時間)		復習： 現代的課題について考察する。(2時間)				
その他	レジュメや資料を配布して講義を進めるが、履修者は高等学校レベルの日本史の基礎的な知識を身につけていることが望ましい。「予習・復習」で示したポイントを参考にしつつ、積極的な姿勢で学んでほしい。						